

# 令和4年度事業報告書 ・ 令和5年度事業計画書

自 令和4年6月1日  
至 令和5年5月31日

自 令和5年6月1日  
至 令和6年5月31日

## I 令和4年度事業報告

### 1. SCB理論を用いたイノベーション創発およびDX推進の啓発

#### (1) 熊本市北区並びに肥後銀行と連携協定締結

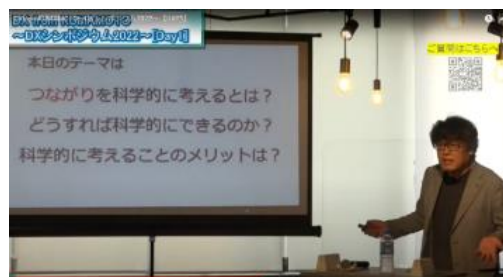
SCB理論を用いた地域DX・地域イノベーション創発プロジェクトの推進とDX人材育成を目的とする包括連携協定を締結し記者会見を開催した。



肥後銀行(3月2日)・熊本市北区(9月14日)と協定締結の記事

#### (2) DXfK主催DXシンポジウム2022

崇城大学IoT・AIセンターや総務省、ソフトバンク、NTT西日本、肥後銀行などの組織と連携することにより、DXfromKumamotoを設立・運営し、熊本のDX推進と情報発信の取り組みをおこなっている。7月23日・24日DXシンポジウム2022を肥後銀行スタハブでオンライン開催し約300名の参加者を集めた。星合隆成所長が基調講演をおこなった。※熊本県と「熊本県DX推進月間」をコラボ開催



DXシンポジウム2022での星合所長の基調講演

#### (3) DX・イノベーション講演会

2022年度、星合所長が、上記DXシンポジウムや総務省主催シンポジウムでの講演を始め15回の講演をおこなった。

2022年4月14日 群馬大学理工学部PBL教育プログラムにおけるイノベーション創発講義講師

2022年5月19日・5月26日 群馬大学イノベーション創発講座

2022年6月18日・19日 群馬県庁32階官民共創スペースNETSUGEN&ジョブラボぐんま共催 DX・イノベーション創発講演会

2022年6月20日 熊本県立熊本西高校 高校生向けDX&Pythonプログラミング講座

2022年6月26日 崇城大学オープンキャンパス参加高校生向けDX・イノベーション創発講演

2022年7月11日 大津高校 高校生向けDX・イノベーション創発講演

2022年7月15日 トライ式高等学院 高校生向けDX・イノベーション創発講演



西高校イノベーション創発講義

2022年7月23日 DXシンポジウム特別講演「つながりを科学する～つながりが地域イノベーション・地域DXを創発する～」

2022年7月26日 都城西高校 高校生向けDX・イノベーション創発講演

2022年9月14日 熊本市北区・崇城大学IoTセンター・SCBラボ付帯協定締結記者会見講演

2022年9月10日～11日 群馬県庁イノベーション創発講座

2022年12月16日 RKKコンピューターサービス 地域DX・地域イノベーション創発講演

2022年12月26日・28日 熊本市北区主催イノベーション人材育成講座「冬休み小中学生Pythonプログラミング教室」

2023年2月23日・25日 熊本市北区役所 職員・市民向け「イノベーション創発：新たな価値観が地域を救う」産経新聞連載コラム読書会

2023年3月21日 一般社団法人ジョブラボぐんま主催・総務省関東総合通信局共催「ジョブラボシンポジウム2023ー地域で取り組むDX人材の活用に向けてー」



北区小中学生 Python プログラミング  
オンライン教室の様子



SCBイノベーションアカデミー講座の様子

## 2. DX人材ならびにイノベーション人材の育成

### (1) SCBイノベーションアカデミー第4期

2022年8月～11月 熊本校, 福岡校, ぐんま校で同時開講。座学+ワークショップ形式による地域イノベーション創発の学びを一般に提供。

### (2) 第1回仮想空間デザインコンテスト

2022年7月28日 IoT・AIセンター主催、熊本市北区、崇城大学、J:COM九州、DXfKが共催し、学生によるICT技術を駆使した空間演出を競うコンテストを実施。200名の学生が参画して肥後銀行頭取賞や熊日新聞社長賞など6つの企業や行政名を冠した賞を設定し、多くの報道に取り上げられることで注目を集めた。



テレビや新聞にて報道



### (3) 北区小中学生向けPythonプログラミング講座

熊本市北区役所の依頼により、イノベーションを創発できる子供を育成することを目的に最先端のプログラミング言語であるPythonプログラミング講座を星合所長を講師に開講した。55名の応募があり、講師を務めた星合教授のわかりやすい授業によって参加者からは「プログラミングが好きだ」「よくわかった」といった声が多く聞かれた。



プログラミング講座の様子とポスター



### (4) 北区区民向け新聞連載コラム読書会を開催

星合所長が2020年に執筆した産経新聞連載コラムを教材とするイノベーション創発講座（読



新聞連載コラム読書会の様子

書会)を2月23日・25日の両日、北区主催で開催した。長船なお美氏の朗読と星合教授の著者ならではの解説によって参加者からイノベーションとは何かがよく分かったといった感想が寄せられた。

### 3. DX・イノベーション創発プロジェクトの推進と支援

#### (1) 議会 x 高校 x 大学によるeスポーツを用いた若者の政治参加啓発イベントを開催

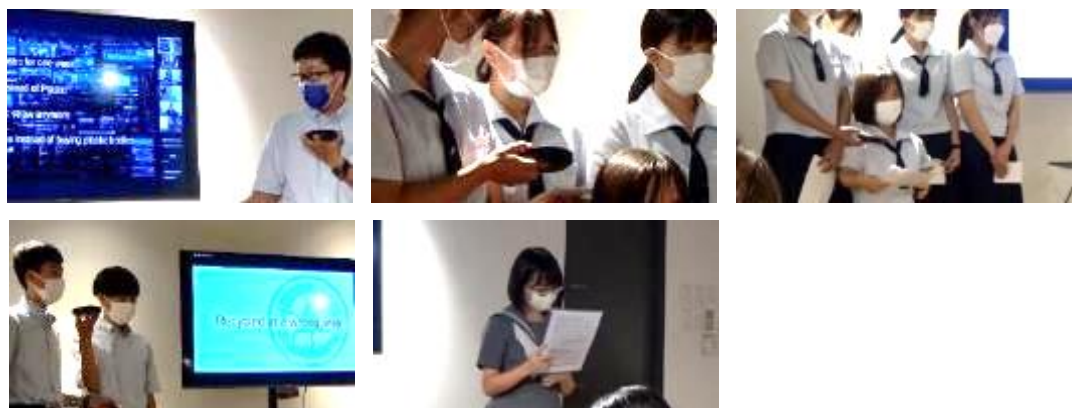
IoTセンターeスポーツスタジオ開設を記念して、山鹿市議会と連携し、若者と議員をゲームでつなぐイベントを開催した。本学並びにSCBラボと連携協定を締結している熊本西高校eスポーツ部部員も参加し大きな盛り上がりとなり、多数のメディアに取り上げられた。



議会 x 高校 x 大学によるeスポーツを用いた若者の政治参加啓発イベントの様子

#### (2) 蔦屋活性化プロジェクト

蔦屋書店熊本三年坂のイノベーション拠点化に向けて、熊本市教育委員会ならびにハイデルベルク市青少年団体と連携し、熊本とドイツハイデルベルクの若者による脱プラスチック社会の実現に向けた意見交換会「サステナビリティフェスティバル2022」を7月17日に蔦屋書店熊本三年坂において実施した。



サステナビリティフェスティバル参加メンバーによる発表の様子

#### (3) 肥後銀行ノーコードアプリ講座

肥後銀行からの依頼により、近年話題となっているコード不要でアプリが作成できるノーコード技術の講座を、11月5日にスタートアップハブくまもと（旧肥後銀行銀座通支店）で開催した。大分でホテル客室管理アプリを独力で開発・運用するホテル従業員による事例紹介など、実践的な学びを提供した。



ノーコードアプリ講座の様子

#### (4) 熊本県・熊本市，上天草市スマートシティ委員会

星合所長が両自治体のDX推進検討委員会委員に就任し、地域の課題解決やイノベーション創発活動を支援するプラットフォーム構築を理論面、学術面で支援した。

## II 令和5年度事業計画

### 1. SCB理論を用いたイノベーション創発およびDX推進の啓発

#### (1) DXfK主催DXシンポジウム2023

DXfromKUMAMOTOに参加する産官学金の各主体と共に熊本のDXの機運を高めるためのイベントを開催する。

#### (2) 講演

SCB理論を用いた地域DX・地域イノベーション創発講演を、総務省関東総合通信局やジョブラボぐんまといった全国のSCB推進団体と共に全国的に実施する。



SCBイノベーションアカデミーの講座の様子

### 2. DX人材ならびにイノベーション人材の育成

#### (1) SCBイノベーションアカデミー第5期

2023年秋に、熊本校、福岡校、ぐんま校で同時開講。座学+ワークショップ形式による地域イノベーション創発の学びを一般に提供。

#### (2) 第2回仮想空間デザインコンテスト

2023年7月にIoT・AIセンター主催、熊本市北区、崇城大学、J:COM九州、DXfKが共催により、学生によるICT技術を駆使した空間演出を競うコンテストを実施する。肥後銀行賞、熊日新聞賞などを授与予定。



メタ空間スタジオ

### 3. DX・イノベーション創発プロジェクトの推進と支援

#### (1) 「地域DX推進に向けたDXハブ間連携」実証実験（トライアル）

崇城大学IoT・AIセンターや熊本市、上天草市など全国21の団体と連携し、SCB理論を用いることで異分野間の地域資源をつなげることによって新たなつながりから新たな価値観を創出すること（異分野融合イノベーション）を目的とした「地域DX」プラットフォーム構築実証実験を推進する。

#### (2) 蔦屋活性化プロジェクト

蔦屋書店熊本三年坂のイノベーション拠点化に向けた熊本市教育委員会ならびにハイデルベルク市青少年団体と連携した若者による青少年交流プロジェクトを実施予定。

#### (3) SCBホンモノニツナガル

日本において最先端の取り組みを進めるトップランナーを熊本に招き、熊本の若者と直接交流することで熊本の人材育成を進める。史上最年少首長の高島峻輔芦屋市長を招へい予定。



蔦屋活性化プロジェクト

### Ⅲ 包括的連携協定などの締結状況

下記の団体と連携協定等を締結し、各団体が推進する地域活性化や地域イノベーション創発活動ならびに人材育成への支援をおこなっている。（括弧内は協定締結日）

- ① 株式会社エフエム熊本（2013年11月13日）
- ② 熊本朝日放送株式会社（2013年11月25日）
- ③ 熊本バスケットボール株式会社（2014年5月9日）
- ④ 株式会社サンマーク（2015年12月9日）
- ⑤ 株式会社ジェイコム九州（2017年5月11日）
- ⑥ 熊本信用金庫（2017年4月24日）
- ⑦ 熊本県立熊本西高校（2019年12月13日）
- ⑧ 株式会社マイナビ（2019年12月17日）
- ⑨ 熊本県（2019年12月26日）
- ⑩ 熊本市（2019年12月26日）
- ⑪ 株式会社熊本日日新聞社（2019年12月26日）
- ⑫ 株式会社ゼロテンパーク（2019年12月26日）
- ⑬ 早稲田大学総合研究機構（2020年7月15日）
- ⑭ 社会福祉法人熊本市社会福祉事業団（2020年8月4日）
- ⑮ 蔦屋書店熊本三年坂 / ニューコ・ワン株式会社（2020年11月16日）
- ⑯ 未来会議室（2020年11月30日）
- ⑰ 公益財団法人熊本YMCA（2021年3月18日）
- ⑱ 熊本市北区役所（2022年9月14日）
- ⑲ 肥後銀行（2023年3月2日）

### Ⅳ 運営組織の状況に関する事項

#### （1）基本情報

設立日 2019年1月7日

名称 一般社団法人SCBラボ

住所 熊本市西区池田4丁目22番1号

電話 090-9602-2967（内藤）

設立の目的 地方創生を目指し、地域社会の健全な発展を目的とし、地域コミュニティブランドの手法を用いて地域活性化の様々な活動を行うこと

#### （2）事業

- ① アクティブラーニング教育プログラムの開発・提供・普及
- ② 出版事業
- ③ 広告事業
- ④ コンサルティング事業
- ⑤ セミナー、イベントの企画及び開催
- ⑥ 地域コミュニティ及びメディアの構築及び運営
- ⑦ 普及啓発活動
- ⑧ 地域で活躍できる人材の育成
- ⑨ 産官学連携推進にかかる活動
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な上記各号に付帯関連する一切の業務

#### （3）社員（設立時）

医療法人如水会

学校法人君が淵学園

株式会社ナレッジコミュニケーション

(4) 役員

顧問 中山 峰男 (崇城大学学長)

顧問 中里 秀則 (早稲田大学教授)

代表理事 嶋田 英敬 (医療法人如水会理事長)

副代表理事 奥沢 明 (株式会社ナレッジコミュニケーション代表取締役)

副代表理事 添島 絵美 (添島歯科クリニック歯科医師)

理事 (所長) 星合 隆成 (崇城大学教授・早稲田大学招聘研究員)

理事 浅川 浩二 (デルタワークス代表)

理事 内村 安里 (株式会社スカイディスク代表取締役兼CEO)

理事 小保方 貴之 (一般社団法人ジョブラボぐんま副理事長)

理事 内藤 豊 (崇城大学助教)

理事 野々下 直子 (株式会社J. H. Wellness代表取締役)

理事 古市 伸一郎 (株式会社Reborn代表取締役)

理事 矢野 裕樹 (株式会社SCBイノベーションアカデミー福岡代表取締役)

理事 吉見 憲二 (成蹊大学准教授)

理事 鷺山 恵真 (学校法人みゆき学園恵水幼稚園園長)

監事 片山 和洋 (ハナウタカジツ代表)

監事 早田 啓考 (株式会社F代表取締役)